

## 1. 手術室の具体的な目標と評価

## 1) 安全で質の高い手術看護の提供

## (1) 倫理カンファレンスの実施

私達が患者との関わりで大切にしていることは、どのような看護を提供したいか何を大切にしているかという看護観をもち、それに基づいて良心を持って看護をする高い倫理観である。倫理カンファレンスも定着してきた。スタッフから提案された事例を元にジレンマを抱いたことや望ましい対応について小グループで意見交換を行っている。カンファレンス後看護師の行動変容につながっている。

## (2) 褥瘡、神経麻痺予防

手術室看護認定看護師が主体となり体位固定マニュアルを作成し、術前に多職種カンファレンスを行い適切に評価した。特に高リスクが考えられる患者には術前に丁寧な対策を多職種で立案することが必要との声が多く聞かれスタッフの合併症予防に対する意識が高まったことが伺えた。

## (3) 災害時の備え

手術室 DMAT 隊員が主体となり、フローチャートを見直し、アクションカードを作成して災害時に備えた。また、災害時の手術室の対応について中央手術部委員会で取り決めマニュアルに追記した。

## 2) 医療安全の推進

## (1) 事故防止対策

重大事故を防ぐ目的でゼロレベルのインシデント報告を増やす取り組みを行った。さらに、どのようなことでも報告しやすい職場雰囲気作りを継続して行っている。インシデント内容を日々のミーティングとファイルを活用してスタッフ全員で共有し再発防止に努めた。インシデント事案に関してはスタッフ全員でメディカルセーフティ手法を用いて振り返りを行い対策立案した。手術室の医療安全チームによる定期的なラウンドでその後の評価を継続して行っている。

## 3) 手術室看護に必要な知識技術の習得

新人看護師には通年で教育パスに沿って教育している。毎月のプリセプター会と教育会で新人看護師個人の目標に対する到達度の見極めを行い、スモールステップで次の目標を立案し、個人のスキルに応じた指導をスタッフ全員で行っている。結果、新人看護師2名中1名が遅出業務に就くことができた。2年目教育は個人の不十分なことを明確とし強化したことで全員拘束業務につくことができた。中堅看護師は主体性が乏しいことが課題であった。今年度は4年目看護師全員をチームの小集団リーダーに任命し主体的に活動するよう計画した。チーム内にベテラン看護師を配置し、小集団を束ねるチームリーダーを5～6年目として、相談しやすい環境作りを行った。活動が中々進捗しないチームもあったが、目指すべき目標に向けて先輩に相談しながらリーダーシップを発揮できた。また、昨年度よりキャリアラダーが導入され、個人のキャリアラダーレベルを見極め目標が達成できるよう通年で支援した。評価項目が手術室看護業務内容と解離しているところは院内留学で補った。院内留学では、患者・家族の反応を受け止め援助的関係を形成すること、意思決定への支援など手術室では経験しにくいことを学ぶ機会となり若年層のキャリアアップにつながった。

## 4) 病院経営への参画

## (1) 一般医療材料の見直し

手術キット、衛生材料の見直しおよびディスポ製品をリユース製品にスイッチすることで、年間 718,524 円経費削減することができた。3年間で総額 11,246,983 円の経費削減である。

## (2) 積極的な手術受け入れ

手術オード締め切り以降は手術枠をフリーとしており、断ることなく積極的に手術オードを受けた。今年度の手術件数累計は 6,414 件で前年度より 163 件増えた。

## 2. 看護体制

表1 令和元年度看護体制

配置人数(人)	手術室経験	看護方式	夜勤体制
看護師 39 内訳: * 本館 35 * 西棟 4 助手 1 クラーク 1	本館新採用者 5(14.7%) 本館手術室勤務経験 2 年以下 9 名(26.5%) * 看護師長を除く	固定チームナーシング 手術体制 本館 9 列 西棟 2 列	本館の時間外手術は拘束者と遅出勤務者で対応する 拘束:3 名 遅出:2 名

## 3. 手術統計

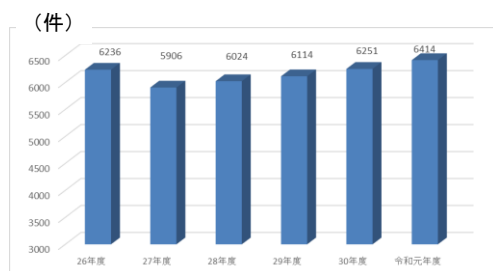


図1 令和元年度手術件数の推移

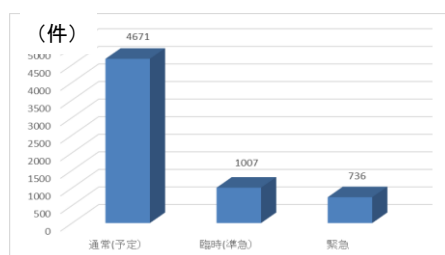
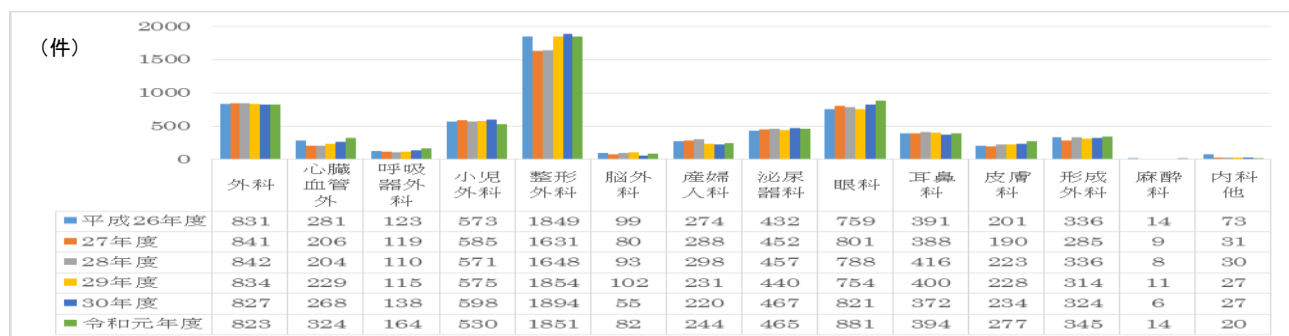


図2 令和元年度 申し込み区分別手術件数



	外科	心外	呼外	児外	整形	脳外	産婦	泌尿	眼科	耳鼻	皮膚	形成	麻酔	内科他
29年度比率(%)	99	141	143	92	100	80	106	106	117	99	121	110	127	74
30年度比率(%)	100	121	119	89	98	149	111	100	107	106	118	106	233	74

図3 令和元年度 診療科別手術件数の年度比較

## 4. 研究業績

### 1) 看護研究発表・研究会発表

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
意識下側臥位手術時の腋窩枕使用による側胸部痛の軽減	照屋樹	第33回日本手術看護学会年次大会	岡山	2019年 10月12日
器械展開時における手術手袋ピンホール発生状況の実態調査	小林鉄平	看護研究発表会	院内	2020年 2月8日